

浜の活力再生広域プラン  
令和4～8年度  
(第2期)

## 1 広域水産業再生委員会

組織名	三重県真珠養殖広域水産業再生委員会
代表者名	森下 文内（立神真珠養殖漁業協同組合 代表理事組合長）

広域委員会の 構成員	三重県真珠養殖連絡協議会、神明真珠養殖漁業協同組合、 立神真珠養殖漁業協同組合、船越真珠養殖漁業協同組合、 片田真珠養殖漁業協同組合、越賀真珠養殖漁業協同組合、 三重県真珠養殖漁業協同組合、 五ヶ所湾地域水産業再生委員会（三重外湾漁業協同組合、南伊勢町）、 南伊勢町南島地区地域水産業再生委員会（三重外湾漁業協同組合、南島あぐり 会、南伊勢町）、志摩市、南伊勢町、三重県
オブザーバー	東日本信用漁業協同組合連合会三重支店

対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類	地域の範囲：志摩市（神明真珠養殖漁業協同組合、立神真珠養殖漁業協同組合、 船越真珠養殖漁業協同組合、片田真珠養殖漁業協同組合、越賀真 珠養殖漁業協同組合、三重県真珠養殖漁業協同組合、三重外湾漁業協 同組合（志摩市内の事業所及び支所） 南伊勢町（立神真珠養殖漁業協同組合、三重県真珠養殖漁業協同 組合、三重外湾漁業協同組合（南伊勢町内の事業所及び支所） 漁業の種類：真珠養殖業 277 経営体（志摩市（218）、南伊勢町（59）） (令和3年3月時点三重県真珠養殖連絡協議会調べ)
---------------------------	--

## 2 地域の現状

## (1) 地域の水産業を取り巻く現状等

<p>三重県の真珠養殖業は生産量 3.5 トン、生産額 30 億円（農林水産統計、2019 年）で全体の約 19% を占め全国第 3 位の生産量・額となっているが、経営体数は 277 経営体と最盛期（1966 年、3,103 経営体）の約 1 割に減少している。県内の真珠養殖漁業協同組合（以下、「真珠養殖漁協」という。）は、平成 15 年 5 月に三重県真珠養殖連絡協議会を設立し、真珠養殖漁協間での連携した取組を円滑に実施する体制を整備した。</p> <p>真珠養殖業は、有害プランクトンによる赤潮の発生、感染性疾病（赤変病等）の蔓延、ポリド ラ（貝殻穿孔性の多毛類）の寄生、夏季の高水温や貧酸素水塊の発生等の外部要因に真珠の品質</p>
---

や生産量が左右される環境にある。近年では、令和元年度にアコヤガイ稚貝を中心に大量へい死や外套膜委縮症状が発生したが、その後も現在に至るまで継続して被害が発生しており、本県の真珠養殖業に大きな打撃を与えている。

また、本県の真珠養殖業は零細な個人経営体が多く、経営体あたりの生産量は 1984 年の 17.1kg、生産額は 1990 年の 2,310 万円をピークに、その後は生産量 8～17kg、生産額 600～2,000 万円で推移しており、2019 年には生産量 14.0kg、生産額 1,190 万円となった（農林水産統計、漁業センサスより算出）。経営体あたりの生産量・生産額は生産上位県である長崎県と比べて約 6 分の 1 と規模が小さく非効率的であるため、競争力において不利な状況となっている。

加えて、経営体数の減少等に伴い、真珠養殖業を継承していく漁業後継者だけでなく、真珠の核入れを行う技術者（以下、「挿核技術者」という。）や作業従事者の不足も懸念されており、喫緊の対応が求められている。

一方、国際社会においては、SDGs（持続可能な開発目標）やエシカル消費（環境や社会に配慮した生産・消費活動）に向けた取組の重要性が高まっている。特にアパレル業界においては、「エシカルファッション」がキーワードになっており、消費者の環境配慮の意識やサステナブルなファッションに関する認知度・利用意向も変わりつつある。真珠についても、品質だけでなく、「どういった方法で生み出されているか」が価値として認識される時代が目前に迫っており、消費者に選ばれる真珠をつくるうえで、生産現場における環境への配慮が重要なポイントとなっている。

## （2）その他の関連する現状等

国が平成 28 年度に創設した「日本農業遺産」に、鳥羽市、志摩市を対象地域とする「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業－持続的漁業を実現するシステム－」が認定され、当該地域の取組を県内外に発信していく良い契機となっている。

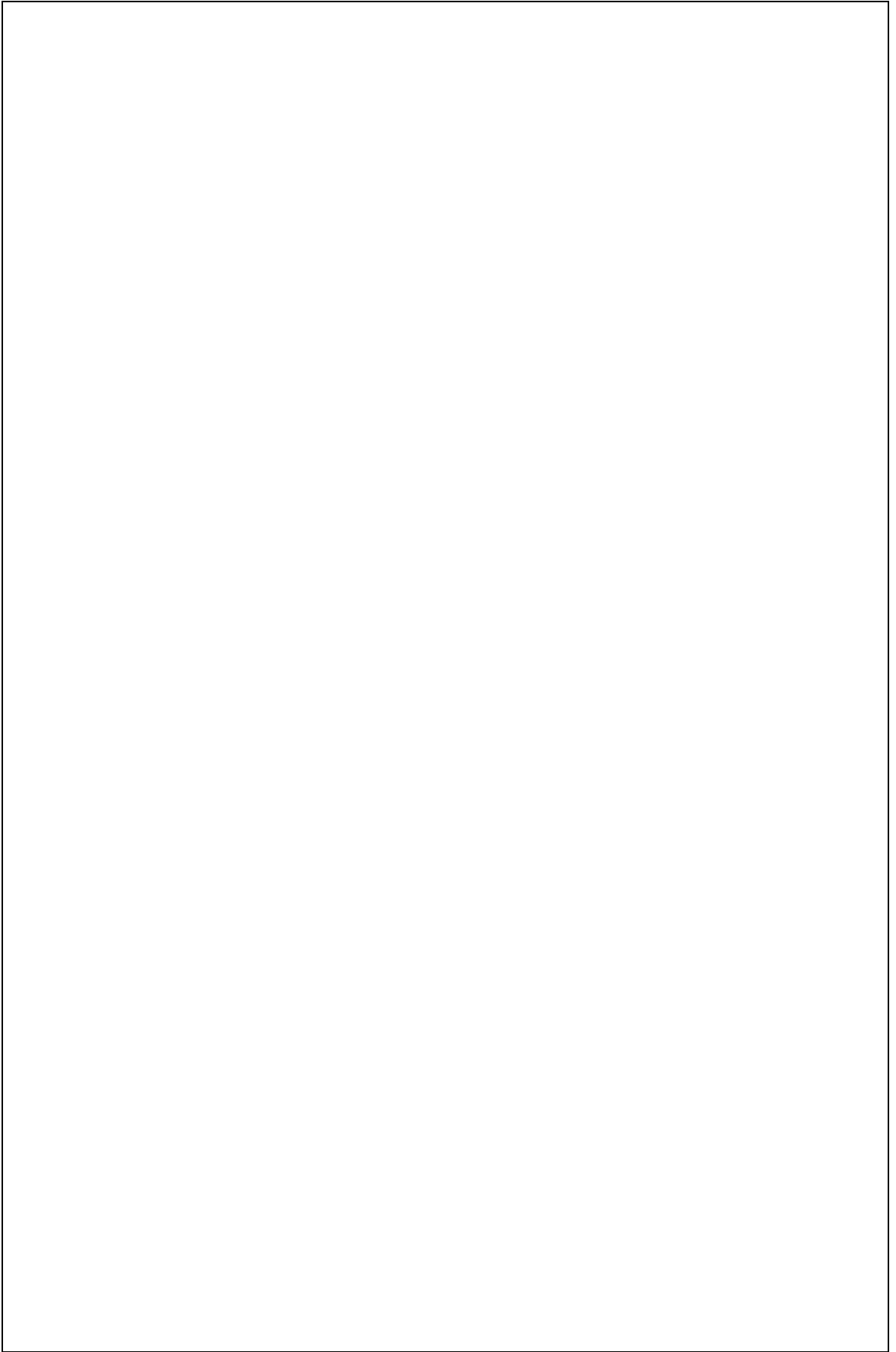
平成 30 年 4 月には、三重県の真珠産業と真珠に係る宝飾文化の振興を目的として、「真珠の振興に関する法律（平成二十八年法律第七十四号）」に基づく「三重県真珠振興計画」が策定された。この計画に定められた 3 つの施策「真珠産業の振興のための施策」、「真珠に係る宝飾文化の振興のための施策」、「真珠の需要増進のための施策」について、真珠生産者及び関係機関が連携して取り組むこととなっている。

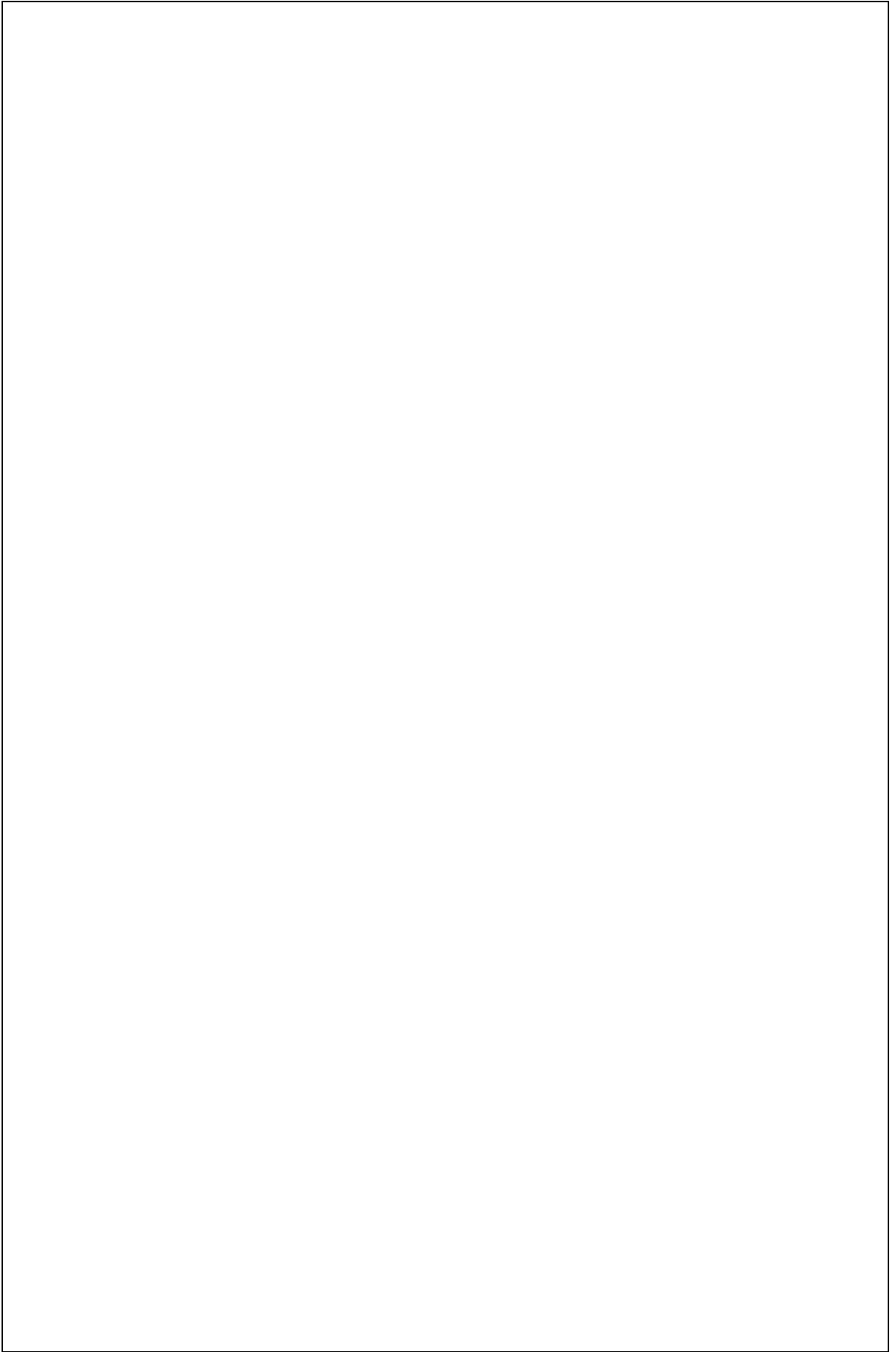
## 3 競争力強化の取組方針

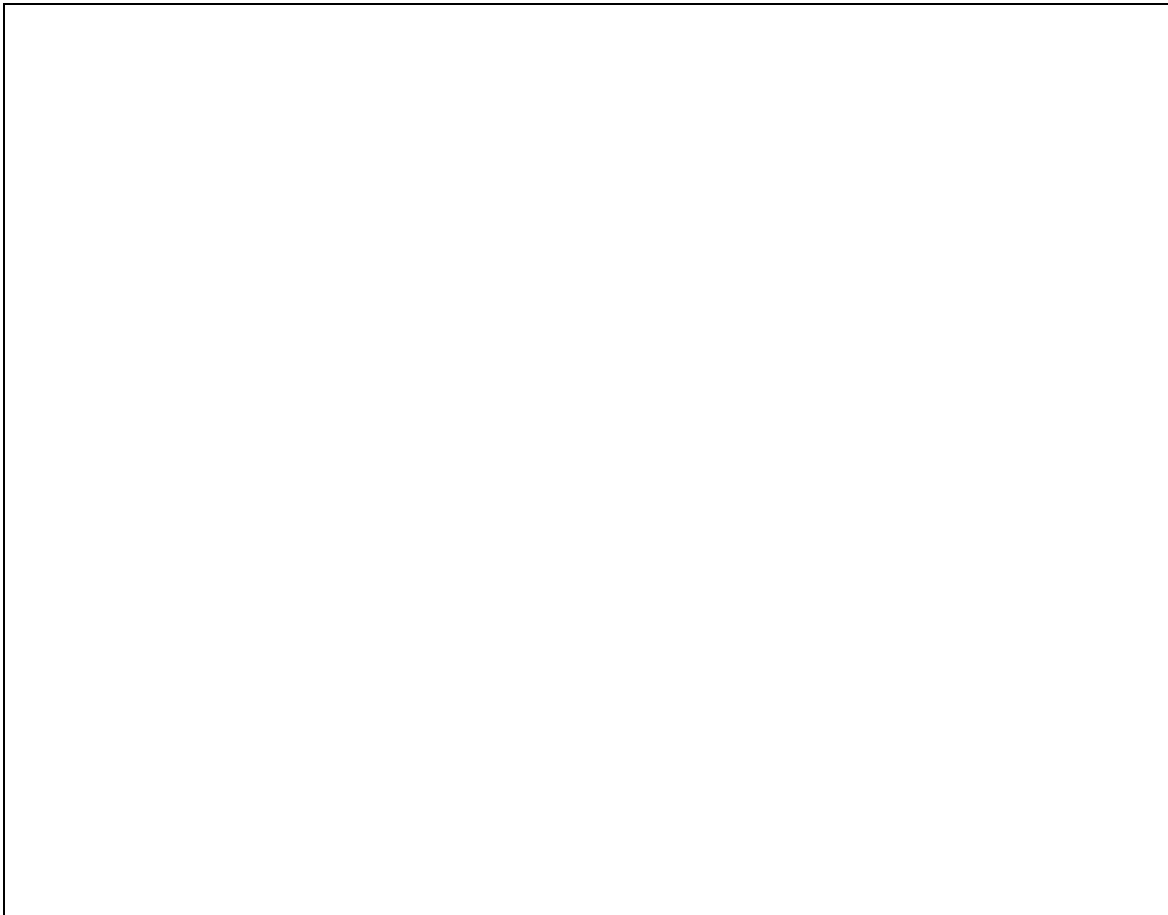
### （1）機能再編・地域活性化に関する基本方針

#### ① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--







② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

I. 生産性及び品質の向上のための取組

三重県真珠養殖連絡協議会による広域での漁場環境モニタリング体制の構築・整備は、水温変化、有害赤潮や貧酸素水塊の発生、感染性疾病の蔓延等のリスク要因による被害の軽減・防止に役立っている。一方で、近年発生しているアコヤガイの大量へい死や外套膜委縮症状等により真珠の生産性及び品質の低下が生じており、生産者及び関係機関が連携して原因究明及び適正な養殖管理等のへい死を軽減させる対策に取り組むとともに、より高度化した環境モニタリングシステムの整備・活用が必要である。

このため、真珠養殖業者は、三重県水産研究所や種苗生産機関等の関係機関と連携・協力し、真珠養殖技術の改良、優良品種の作出・保存、へい死及び外套膜委縮症状の原因究明及び対策等に係る取組を推進する。また、ICT・IoTを活用することで、リアルタイムな漁場環境情報の取得に加えて未来予測を可能にするとともに、より効率的なシステム運用に取り組む。

さらに、海への有機物負荷の低減のため、真珠養殖業者は市町・県等と協力してパール・コンポストに取り組むとともに、取組の普及・PRにより取組者の増加を図る。

II. 地域及び生産者間の連携による経営安定化の取組

真珠価格は世界経済の動向、外国産真珠との国際競争、消費者ニーズの変化等に影響を受けている。現状では、個々の生産者や各真珠養殖漁協の方針によって生産されているため、消費

者ニーズを捉えた戦略的な生産体制となっていないことから、生産効率及び販売力の向上に取り組むとともに、収入の多角化やコスト削減による経営の安定化を図る必要がある。

そこで、市場ニーズを捉えた広域での生産方針を策定するとともに、全真連に集約された入札会を維持し、出品される真珠の集約や取扱ロット内の均質性の向上を図ることで、入札単価の向上を目指す。

また、アコヤガイの貝柱・貝殻等の養殖副産物の販売、宝飾品・加工食品の生産による6次産業化、観光漁業への取組を行うほか、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入、養殖作業の共同化、漁業共済への加入等を推進する。

## (2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

### ① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

### ② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

三重県の真珠養殖業は、1経営体あたりの生産量が他の主要な真珠生産県と比較して少なく、零細な個人経営体が多い状況にある。また、真珠養殖地域における過疎化や真珠養殖業者の減少に加えて、生産者をサポートする挿核技術者や作業従事者も減少しており、漁業後継者等の育成及び確保が課題となっている。

そこで、三重県の真珠養殖業の振興を推進する意欲ある生産者は、真珠養殖技術向上及び経営能力向上のための研修等を受講することで自己のスキルアップに努めるとともに、作業環境の改善にかかる施設・作業所等の整備や省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入に取り組むことで経営の安定化を図るものとする。

また、こうした意欲ある生産者が中心となり、国等の各種事業の活用による漁業研修生の受け入れ及び着業を推進するための「真珠塾」を開催することにより、漁業後継者の確保に引き続き取り組む。さらに、広域で挿核技術者や作業従事者の求人要望をとりまとめるとともに、パートタイムでの雇用や人材登録制度の導入により効率的な人材確保に取り組む。

さらに、意欲的に真珠養殖業を営む生産者のうち、次に掲げるいずれかに該当する者については、「中核的漁業者」として、関係真珠養殖漁協の推薦により当広域水産業再生委員会が認定するものとする。

- ・ 漁家経営の安定化に意欲的な者
- ・ 新規就業者の受入や作業従事者の雇用、若手の指導に積極的な者
- ・ 地域をけん引している、又は、そうなることが期待される者

## (3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・ 漁業法、漁業権行使規則

- ・三重海区漁業調整委員会指示（真珠養殖用いかだへの標識の設置についての指示）
- ・的矢湾養殖漁場利用計画、英虞湾養殖漁場利用計画、度会水域養殖漁場改善計画

(4) 具体的な取組内容（年度ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和4年度）

取組内容	<p>(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針</p> <p><u>I. 生産性及び品質の向上のための取組</u></p> <p>1. 真珠養殖業者は、三重県水産研究所や種苗生産機関等の関係機関と連携・協力し、真珠養殖技術の改良、優良品種の作出・保存、へい死及び外套膜委縮症状の原因究明及び対策等に係る取組を推進する。また、真珠品評会の開催や研究会活動等の生産者による技術改善の取組を推進するとともに、優良技術の普及に取り組む。</p> <p>2. 真珠養殖業者及び三重県水産研究所等が観測した漁場環境情報を「アコヤ環境情報」として同所がとりまとめ、ホームページやFAX等で発信する。真珠養殖業者は、この広域の漁場環境情報を活用し、水温変化、有害赤潮や貧酸素水塊の発生、感染性疾患の蔓延等、アコヤガイの健康被害リスク要因による影響を軽減・防止する。また、三重県真珠養殖連絡協議会及び真珠養殖漁協は、ICT・IoTを活用した「うみログ」等の効率的なモニタリングシステムを整備・運用することで、リアルタイムな漁場環境情報の取得に取り組む。加えて、三重県水産研究所は、大学等の研究機関と連携して漁場環境情報の未来予測を可能にするシステムの開発を行う。</p> <p>3. 真珠養殖業者は、漁場の清掃や不要漁具の集積廃棄に加え、海への有機物負荷の低減に資する養殖廃棄物のコンポスト化等の取組者を増やすことにより、漁場環境の維持・改善に努める。</p> <p><u>II. 地域及び生産者間の連携による経営安定化の取組</u></p> <p>1. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、漁場環境及び真珠養殖技術を最大限に生かした「攻めの生産体制」に転換するため、真珠の色味等の市場ニーズを捉えた広域での生産方針を検討する。また、集中作業施設の整備等により挿核や浜揚げ作業を効率化するなど、生産量の維持につながる取組を検討する。</p> <p>2. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、販売単価の向上及び入札会の開催に係るコスト削減のため、全真連に集約された入札会の維持や、真珠の品質を最優先にした浜揚げスケジュールへの転換による開催時期の見直しを検討する。また、これに伴う不要施設の撤去や施設の更新、効率的な入札を支援する仕組みを検討する。</p>
------	--

	<p>3. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、三重県産真珠のブランド力強化と単価向上のため、低品質真珠の出荷自粛や全真連への集約出荷による品質向上に取り組む。また、Zoom 等を活用した自宅で参加できる体験型イベントを開催するなどのオフライン・オンラインを併用した新たな手法による PR 活動や、ジュエリーショーの視察調査等による最新の需要動向の把握にも取り組み、市場ニーズを捉えた「売れる真珠」の生産につなげる。</p> <p>4. 真珠養殖業者は、収入の多角化による経営安定を図るため、アコヤガイの貝柱・貝殻等の養殖副産物の販売、宝飾品・加工食品の生産による 6 次産業化、観光漁業への取組を推進する。</p> <p>5. 真珠養殖業者は、生産コストの削減や効率化のため、船底清掃や減速航行を励行するほか、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入、見回りや貝掃除等における作業の共同化を推進する。また、安全性や作業性の改善を図るため、老朽化した関連施設・設備の整備・撤去を推進する。</p> <p>6. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、経営リスクの低減による経営安定化のため、漁業共済への全員加入に取り組む。また、県や市・町は赤潮特約の付帯を支援・推進する。</p> <p>(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針</p> <p>1. 真珠養殖業者は、中核的漁業者等の優秀な生産者を講師とした挿核・飼育の技術研修等を実施することで、漁業後継者や挿核技術者等の円滑な真珠養殖技術の習得に取り組む。</p> <p>2. 真珠養殖業者は、将来を担う人材の確保・育成のため、地域内外からの漁業研修生の受け入れや経営指導に取り組むとともに、国や県等の行う各種事業の積極的な活用により「真珠塾」を開催して新規就業者の着業につなげる。</p> <p>3. 三重県真珠養殖連絡協議会は、挿核技術者や作業従事者の求人要望を広域でとりまとめるとともに、主婦層のパートタイム雇用や人材登録制度の導入等による柔軟な働き方と雇用形態の実現を検討・推進する。</p> <p>4. 真珠養殖業者は、労働環境の改善のため、作業所等の整備・改修に取り組む。</p>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（関連項目：Ⅰ-1,2,3、Ⅱ-1,2,3,4）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（関連項目：Ⅱ-2,5、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業（関連項目：Ⅱ-2,4、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>漁業収入安定対策事業（関連項目：Ⅱ-6）</p>



	<p>農山漁村 6 次産業化対策事業（関連項目：Ⅱ-4）</p> <p>農山漁村振興交付金（関連項目：Ⅱ-4）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>真珠品質保持緊急対策（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>経営体育成総合支援事業（関連項目：Ⅲ-1,2,3）</p> <p>貝類のへい死対策環境整備支援事業（関連項目：Ⅰ-1,2）</p> <p>漁業共済推進事業費補助金（県）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>沿岸漁業改善資金貸付事業（県）（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>英虞湾観測事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>自動水温観測ブイ管理事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>真珠品評会事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-1）</p> <p>漁業共済赤潮特約事業（市）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>自動観測装置管理事業補助金（町）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>養殖共済赤潮特約負担金（町）（関連項目：Ⅱ-6）</p>
--	---

2年目（令和5年度）

取組内容	<p>(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針</p> <p><u>Ⅰ. 生産性及び品質の向上のための取組</u></p> <p>1. 真珠養殖業者は、三重県水産研究所や種苗生産機関等の関係機関と連携・協力し、真珠養殖技術の改良、優良品種の作出・保存、へい死及び外套膜委縮症状の原因究明及び対策等に係る取組を推進する。また、真珠品評会の開催や研究会活動等の生産者による技術改善の取組を推進するとともに、優良技術の普及に取り組む。</p> <p>2. 真珠養殖業者及び三重県水産研究所等が観測した漁場環境情報を「アコヤ環境情報」として同所がとりまとめ、ホームページや FAX 等で発信する。真珠養殖業者は、この広域の漁場環境情報を活用し、水温変化、有害赤潮や貧酸素水塊の発生、感染性疾病の蔓延等、アコヤガイの健康被害リスク要因による影響を軽減・防止する。また、三重県真珠養殖連絡協議会及び真珠養殖漁協は、ICT・IoT を活用した「うみログ」等の効率的なモニタリングシステムを整備・運用することで、リアルタイムな漁場環境情報の取得に取り組む。加えて、三重県水産研究所は、大学等の研究機関と連携して漁場環境情報の未来予測を可能にするシステムの開発を行う。</p> <p>3. 真珠養殖業者は、漁場の清掃や不要漁具の集積廃棄に加え、海への有機物負荷の低減に資する養殖廃棄物のコンポスト化等の取組者を増やすことにより、漁場環境の維持・改善に努める。</p>
------	--

## II. 地域及び生産者間の連携による経営安定化の取組

1. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、漁場環境及び真珠養殖技術を最大限に生かした「攻めの生産体制」に転換するため、市場ニーズを捉えた広域での生産方針の検討を継続する。また、集中作業施設の整備等により挿核や浜揚げ作業を効率化するなど、生産量の維持につながる取組を推進する。
2. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、販売単価の向上及び入札会の開催に係るコスト削減のため、全真連に集約された入札会の維持や、真珠の品質を最優先にした浜揚げスケジュールへの転換による開催時期の見直しの検討を継続する。また、これに伴う不要施設の撤去や施設の更新、効率的な入札を支援する仕組みの検討を継続する。
3. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、三重県産真珠のブランド力強化と単価向上のため、低品質真珠の出荷自粛や集約出荷による品質向上に取り組む。また、Zoom 等を活用した自宅で参加できる体験型イベントを開催するなどのオフライン・オンラインを併用した新たな手法による PR 活動や、ジュエリーショーの視察調査等による最新の需要動向の把握にも取り組み、市場ニーズを捉えた「売れる真珠」の生産につなげる。
4. 真珠養殖業者は、収入の多角化による経営安定を図るため、アコヤガイの貝柱・貝殻等の養殖副産物の販売、宝飾品・加工食品の生産による 6 次産業化、観光漁業への取組を推進する。
5. 真珠養殖業者は、生産コストの削減や効率化のため、船底清掃や減速航行を励行するほか、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入、見回りや貝掃除等における作業の共同化を推進する。また、安全性や作業性の改善を図るため、老朽化した関連施設・設備の整備・撤去を推進する。
6. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、経営リスクの低減による経営安定化のため、漁業共済への全員加入に取り組む。また、県や市・町は赤潮特約の付帯を支援・推進する。

### (2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

1. 真珠養殖業者は、中核的漁業者等の優秀な生産者を講師とした挿核・飼育の技術研修等を実施することで、漁業後継者や挿核技術者等の円滑な真珠養殖技術の習得に取り組む。
2. 真珠養殖業者は、将来を担う人材の確保・育成のため、地域内外からの漁業研修生の受け入れや経営指導に取り組むとともに、国や県等の行う各種事業の積極的な活用により「真珠塾」を開催して新規就業者

	<p>の着業につなげる。</p> <p>3. 三重県真珠養殖連絡協議会は、挿核技術者や作業従事者の求人要望を広域でとりまとめるとともに、主婦層のパートタイム雇用や人材登録制度の導入等による柔軟な働き方と雇用形態の実現を検討・推進する。</p> <p>4. 真珠養殖業者は、労働環境の改善のため、作業所等の整備・改修に取り組む。</p>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（関連項目：Ⅰ-1,2,3、Ⅱ-1,2,3,4）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（関連項目：Ⅱ-2,5、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業（関連項目：Ⅱ-2,4、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>漁業収入安定対策事業（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>農山漁村6次産業化対策事業（関連項目：Ⅱ-4）</p> <p>農山漁村振興交付金（関連項目：Ⅱ-4）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>真珠品質保持緊急対策（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>経営体育成総合支援事業（関連項目：Ⅲ-1,2,3）</p> <p>貝類のへい死対策環境整備支援事業（関連項目：Ⅰ-1,2）</p> <p>漁業共済推進事業費補助金（県）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>沿岸漁業改善資金貸付事業（県）（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>英虞湾観測事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>自動水温観測ブイ管理事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>真珠品評会事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-1）</p> <p>漁業共済赤潮特約事業（市）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>自動観測装置管理事業補助金（町）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>養殖共済赤潮特約負担金（町）（関連項目：Ⅱ-6）</p>

3年目（令和6年度）

取組内容	<p>(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針</p> <p><u>Ⅰ. 生産性及び品質の向上のための取組</u></p> <p>1. 真珠養殖業者は、三重県水産研究所や種苗生産機関等の関係機関と連携・協力し、真珠養殖技術の改良、優良品種の作出・保存、へい死及び外套膜委縮症状の原因究明及び対策等に係る取組を推進する。また、真珠品評会の開催や研究会活動等の生産者による技術改善の取組を推進するとともに、優良技術の普及に取り組む。</p>
------	--

2. 真珠養殖業者及び三重県水産研究所等が観測した漁場環境情報を「アコヤ環境情報」として同所がとりまとめ、ホームページや FAX 等で発信する。真珠養殖業者は、この広域の漁場環境情報を活用し、水温変化、有害赤潮や貧酸素水塊の発生、感染性疾病の蔓延等、アコヤガイの健康被害リスク要因による影響を軽減・防止する。また、三重県真珠養殖連絡協議会及び真珠養殖漁協は、ICT・IoTを活用した「うみログ」等の効率的なモニタリングシステムや未来予測システムを運用することでリアルタイムな漁場環境情報の取得に取り組み、真珠養殖業者が適正な養殖管理に活用する。
3. 真珠養殖業者は、漁場の清掃や不要漁具の集積廃棄に加え、海への有機物負荷の低減に資する養殖廃棄物のコンポスト化等の取組者を増やすことにより、漁場環境の維持・改善に努める。

## II. 地域及び生産者間の連携による経営安定化の取組

1. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、漁場環境及び真珠養殖技術を最大限に生かした「攻めの生産体制」に転換するため、市場ニーズを捉えた広域での生産方針を決定し、推進する。また、集中作業施設の整備等により挿核や浜揚げ作業を効率化するなど、生産量の維持につながる取組を推進する。
2. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、販売単価の向上及び入札会の開催に係るコスト削減のため、全真連に集約された入札会の維持や、真珠の品質を最優先にした浜揚げスケジュールへの転換による開催時期の見直しを行う。また、これに伴う不要施設の撤去や施設の更新、効率的な入札を支援する仕組みの導入に取り組む。
3. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、三重県産真珠のブランド力強化と単価向上のため、低品質真珠の出荷自粛や集約出荷による品質向上に取り組む。また、Zoom 等を活用した自宅で参加できる体験型イベントを開催するなどのオフライン・オンラインを併用した新たな手法による PR 活動や、ジュエリーショーの視察調査等による最新の需要動向の把握にも取り組み、市場ニーズを捉えた「売れる真珠」の生産につなげる。
4. 真珠養殖業者は、収入の多角化による経営安定を図るため、アコヤガイの貝柱・貝殻等の養殖副産物の販売、宝飾品・加工食品の生産による 6 次産業化、観光漁業への取組を推進する。
5. 真珠養殖業者は、生産コストの削減や効率化のため、船底清掃や減速航行を励行するほか、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入、見回りや貝掃除等における作業の共同化を推進する。また、

	<p>安全性や作業性の改善を図るため、老朽化した関連施設・設備の整備・撤去を推進する。</p> <p>6. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、経営リスクの低減による経営安定化のため、漁業共済への全員加入に取り組む。また、県や市は赤潮特約の付帯を支援・推進する。</p> <p>(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真珠養殖業者は、中核的漁業者等の優秀な生産者を講師とした挿核・飼育の技術研修等を実施することで、漁業後継者や挿核技術者等の円滑な真珠養殖技術の習得に取り組む。</li> <li>2. 真珠養殖業者は、将来を担う人材の確保・育成のため、地域内外からの漁業研修生の受け入れや経営指導に取り組むとともに、国や県等の行う各種事業の積極的な活用により「真珠塾」を開催して新規就業者の着業につなげる。</li> <li>3. 三重県真珠養殖連絡協議会は、挿核技術者や作業従事者の求人要望を広域でとりまとめるとともに、主婦層のパートタイム雇用や人材登録制度の導入等による柔軟な働き方と雇用形態の実現を推進する。</li> <li>4. 真珠養殖業者は、労働環境の改善のため、作業所等の整備・改修に取り組む。</li> </ol>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>広域浜プラン緊急対策事業（関連項目：Ⅰ-1,2,3、Ⅱ-1,2,3,4）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（関連項目：Ⅱ-2,5、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業（関連項目：Ⅱ-2,4、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>漁業収入安定対策事業（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>農山漁村6次産業化対策事業（関連項目：Ⅱ-4）</p> <p>農山漁村振興交付金（関連項目：Ⅱ-4）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>真珠品質保持緊急対策（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>経営体育成総合支援事業（関連項目：Ⅲ-1,2,3）</p> <p>貝類のへい死対策環境整備支援事業（関連項目：Ⅰ-1,2）</p> <p>漁業共済推進事業費補助金（県）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>沿岸漁業改善資金貸付事業（県）（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>英虞湾観測事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>自動水温観測ブイ管理事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>真珠品評会事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-1）</p> <p>漁業共済赤潮特約事業（市）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>自動観測装置管理事業補助金（町）（関連項目：Ⅰ-2）</p>

	養殖共済赤潮特約負担金（町）（関連項目：Ⅱ-6）
--	--------------------------

4年目（令和7年度）

取組内容	<p>(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針</p> <p><u>I. 生産性及び品質の向上のための取組</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真珠養殖業者は、三重県水産研究所や種苗生産機関等の関係機関と連携・協力し、真珠養殖技術の改良、優良品種の作出・保存、へい死及び外套膜委縮症状の原因究明及び対策等に係る取組を推進する。また、真珠品評会の開催や研究会活動等の生産者による技術改善の取組を推進するとともに、優良技術の普及に取り組む。</li> <li>2. 真珠養殖業者及び三重県水産研究所等が観測した漁場環境情報を「アコヤ環境情報」として同所がとりまとめ、ホームページや FAX 等で発信する。真珠養殖業者は、この広域の漁場環境情報を活用し、水温変化、有害赤潮や貧酸素水塊の発生、感染性疾患の蔓延等、アコヤガイの健康被害リスク要因による影響を軽減・防止する。また、三重県真珠養殖連絡協議会及び真珠養殖漁協が、ICT・IoT を活用した「うみログ」等の効率的なモニタリングシステムや未来予測システムを運用することでリアルタイムな漁場環境情報の取得に取り組み、真珠養殖業者が適正な養殖管理に活用する。</li> <li>3. 真珠養殖業者は、漁場の清掃や不要漁具の集積廃棄に加え、海への有機物負荷の低減に資する養殖廃棄物のコンポスト化等の取組者を増やすことにより、漁場環境の維持・改善に努める。</li> </ol> <p><u>II. 地域及び生産者間の連携による経営安定化の取組</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、漁場環境及び真珠養殖技術を最大限に生かした「攻めの生産体制」に転換するため、市場ニーズを捉えた広域での生産方針を推進する。また、集中作業施設の整備等により挿核や浜揚げ作業を効率化するなど、生産量の維持につながる取組を推進する。</li> <li>2. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、販売単価の向上及び入札会の開催に係るコスト削減のため、全真連に集約された入札会の維持や、真珠の品質を最優先にした浜揚げスケジュールに合わせ入札会を開催する。また、これに伴う不要施設の撤去や施設の更新、効率的な入札を支援する仕組みの導入に取り組む。</li> <li>3. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、三重県産真珠のブランド力強化と単価向上のため、低品質真珠の出荷自粛や集約出荷による品質向</li> </ol>
------	--

	<p>上に取り組む。また、Zoom 等を活用した自宅で参加できる体験型イベントを開催するなどのオフライン・オンラインを併用した新たな手法による PR 活動や、ジュエリーショーの視察調査等による最新の需要動向の把握にも取り組み、市場ニーズを捉えた「売れる真珠」の生産につなげる。</p> <p>4. 真珠養殖業者は、収入の多角化による経営安定を図るため、アコヤガイの貝柱・貝殻等の養殖副産物の販売、宝飾品・加工食品の生産による 6 次産業化、観光漁業への取組を推進する。</p> <p>5. 真珠養殖業者は、生産コストの削減や効率化のため、船底清掃や減速航行を励行するほか、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入、見回りや貝掃除等における作業の共同化を推進する。また、安全性や作業性の改善を図るため、老朽化した関連施設・設備の整備・撤去を推進する。</p> <p>6. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、経営リスクの低減による経営安定化のため、漁業共済への全員加入に取り組む。また、県や市・町は赤潮特約の付帯を支援・推進する。</p> <p>(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針</p> <p>1. 真珠養殖業者は、中核的漁業者等の優秀な生産者を講師とした挿核・飼育の技術研修等を実施することで、漁業後継者や挿核技術者等の円滑な真珠養殖技術の習得に取り組む。</p> <p>2. 真珠養殖業者は、将来を担う人材の確保・育成のため、地域内外からの漁業研修生の受け入れや経営指導に取り組むとともに、国や県等の行う各種事業の積極的な活用により「真珠塾」を開催して新規就業者の着業につなげる。</p> <p>3. 三重県真珠養殖連絡協議会は、挿核技術者や作業従事者の求人要望を広域でとりまとめるとともに、主婦層のパートタイム雇用や人材登録制度の導入等による柔軟な働き方と雇用形態の実現を推進する。</p> <p>4. 真珠養殖業者は、労働環境の改善のため、作業所等の整備・改修に取り組む。</p>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（関連項目：Ⅰ-1,2,3、Ⅱ-1,2,3,4）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（関連項目：Ⅱ-2,5、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業（関連項目：Ⅱ-2,4、Ⅲ-3）</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>漁業収入安定対策事業（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>農山漁村 6 次産業化対策事業（関連項目：Ⅱ-4）</p> <p>農山漁村振興交付金（関連項目：Ⅱ-4）</p>

	<p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>真珠品質保持緊急対策（関連項目：Ⅱ-1,2）</p> <p>経営体育成総合支援事業（関連項目：Ⅲ-1,2,3）</p> <p>貝類のへい死対策環境整備支援事業（関連項目：Ⅰ-1,2）</p> <p>漁業共済推進事業費補助金（県）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>沿岸漁業改善資金貸付事業（県）（関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2）</p> <p>英虞湾観測事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>自動水温観測ブイ管理事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>真珠品評会事業補助金（市）（関連項目：Ⅰ-1）</p> <p>漁業共済赤潮特約事業（市）（関連項目：Ⅱ-6）</p> <p>自動観測装置管理事業補助金（町）（関連項目：Ⅰ-2）</p> <p>養殖共済赤潮特約負担金（町）（関連項目：Ⅱ-6）</p>
--	---

5年目（令和8年度）

取組内容	<p>(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針</p> <p><u>I. 生産性及び品質の向上のための取組</u></p> <p>1. 真珠養殖業者は、三重県水産研究所や種苗生産機関等の関係機関と連携・協力し、真珠養殖技術の改良、優良品種の作出・保存、へい死及び外套膜委縮症状の原因究明及び対策等に係る取組を推進する。また、真珠品評会の開催や研究会活動等の生産者による技術改善の取組を推進するとともに、優良技術の普及に取り組む。</p> <p>2. 真珠養殖業者及び三重県水産研究所等が観測した漁場環境情報を「アコヤ環境情報」として同所がとりまとめ、ホームページやFAX等で発信する。真珠養殖業者は、この広域の漁場環境情報を活用し、水温変化、有害赤潮や貧酸素水塊の発生、感染性疾病の蔓延等、アコヤガイの健康被害リスク要因による影響を軽減・防止する。また、三重県真珠養殖連絡協議会及び真珠養殖漁協は、ICT・IoTを活用した「うみログ」等の効率的なモニタリングシステムや未来予測システムを運用することでリアルタイムな漁場環境情報の取得に取り組み、真珠養殖業者が適正な養殖管理に活用する。</p> <p>3. 真珠養殖業者は、漁場の清掃や不要漁具の集積廃棄に加え、海への有機物負荷の低減に資する養殖廃棄物のコンポスト化等の取組者を増やすことにより、漁場環境の維持・改善に努める。</p> <p><u>II. 地域及び生産者間の連携による経営安定化の取組</u></p> <p>1. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、漁場環境及び真珠養殖技術を最大限に生かした「攻めの生産体制」に転換するため、市場ニーズを</p>
------	---



	<p>捉えた広域での生産方針を推進する。また、集中作業施設の整備等により挿核や浜揚げ作業を効率化するなど、生産量の維持につながる取組を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、販売単価の向上及び入札会の開催に係るコスト削減のため、全真連に集約された入札会の維持や、真珠の品質を最優先にした浜揚げスケジュールに合わせ入札会を開催する。また、これに伴う不要施設の撤去や施設の更新、効率的な入札を支援する仕組みの導入に取り組む。</li> <li>3. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、三重県産真珠のブランド力強化と単価向上のため、低品質真珠の出荷自粛や集約出荷による品質向上に取り組む。また、Zoom 等を活用した自宅で参加できる体験型イベントを開催するなどのオフライン・オンラインを併用した新たな手法による PR 活動や、ジュエリーショーの視察調査等による最新の需要動向の把握にも取り組み、市場ニーズを捉えた「売れる真珠」の生産につなげる。</li> <li>4. 真珠養殖業者は、収入の多角化による経営安定を図るため、アコヤガイの貝柱・貝殻等の養殖副産物の販売、宝飾品・加工食品の生産による 6 次産業化、観光漁業への取組を推進する。</li> <li>5. 真珠養殖業者は、生産コストの削減や効率化のため、船底清掃や減速航行を励行するほか、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入、見回りや貝掃除等における作業の共同化を推進する。また、安全性や作業性の改善を図るため、老朽化した関連施設・設備の整備・撤去を推進する。</li> <li>6. 真珠養殖漁協及び真珠養殖業者は、経営リスクの低減による経営安定化のため、漁業共済への全員加入に取り組む。また、県や市・町は赤潮特約の付帯を支援・推進する。</li> </ol> <p>(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 真珠養殖業者は、中核的漁業者等の優秀な生産者を講師とした挿核・飼育の技術研修等を実施することで、漁業後継者や挿核技術者等の円滑な真珠養殖技術の習得に取り組む。</li> <li>2. 真珠養殖業者は、将来を担う人材の確保・育成のため、地域内外からの漁業研修生の受け入れや経営指導に取り組むとともに、国や県等の行う各種事業の積極的な活用により「真珠塾」を開催して新規就業者の着業につなげる。</li> <li>3. 三重県真珠養殖連絡協議会は、挿核技術者や作業従事者の求人要望を広域でとりまとめるとともに、主婦層のパートタイム雇用や人材登録</li> </ol>
--	--

	<p>制度の導入等による柔軟な働き方と雇用形態の実現を推進する。</p> <p>4. 真珠養殖業者は、労働環境の改善のため、作業所等の整備・改修に取り組む。</p>
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（関連項目：I-1,2,3、II-1,2,3,4）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（関連項目：II-2,5、III-3）</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業（関連項目：II-2,4、III-3）</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業（関連項目：II-1,2）</p> <p>漁業収入安定対策事業（関連項目：II-6）</p> <p>農山漁村6次産業化対策事業（関連項目：II-4）</p> <p>農山漁村振興交付金（関連項目：II-4）</p> <p>水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（関連項目：II-5、III-2）</p> <p>真珠品質保持緊急対策（関連項目：II-1,2）</p> <p>経営体育成総合支援事業（関連項目：III-1,2,3）</p> <p>貝類のへい死対策環境整備支援事業（関連項目：I-1,2）</p> <p>漁業共済推進事業費補助金（県）（関連項目：II-6）</p> <p>沿岸漁業改善資金貸付事業（県）（関連項目：II-5、III-2）</p> <p>英虞湾観測事業補助金（市）（関連項目：I-2）</p> <p>自動水温観測ブイ管理事業補助金（市）（関連項目：I-2）</p> <p>真珠品評会事業補助金（市）（関連項目：I-1）</p> <p>漁業共済赤潮特約事業（市）（関連項目：II-6）</p> <p>自動観測装置管理事業補助金（町）（関連項目：I-2）</p> <p>養殖共済赤潮特約負担金（町）（関連項目：II-6）</p>

(5) 関係機関との連携

三重県水産研究所、三重県水産業振興事業団、南伊勢町種苗センター等の研究機関や種苗生産機関と連携し、優良系統の作出や保存のほか、真珠養殖技術の開発や実証に取り組む。また、三重外湾漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合と連携し、漁場環境情報の共有や適切な漁場の利用に取り組む。

(6) 他産業との連携

平成27年に「伊勢志摩G7サミット」の開催決定を契機として、生産者、加工業者、小売業者、行政で構成する三重県真珠振興協議会を設立し、真珠に関する情報共有やPR活動等をオール三重具体制で行っている。

#### 4 成果目標

##### (1) 成果目標の考え方

1) 機能再編・地域活性化
機能再編・地域活性化にあたっては、持続的な真珠養殖業の実現に向けた所得の向上が重要であることから、1 経営体あたりの売上数量と単価の向上を成果指標とする。
2) 中核的担い手育成
中核的担い手の育成にあたっては、地域の真珠養殖業の将来を担う人材の確保・育成が重要であることから、新規真珠養殖業就業者の数を成果目標とする。

##### (2) 成果目標

1 経営体あたり真珠共販売上数量	基準年	平成 28～令和 2 年度平均：3.3 貫
	目標年	令和 8 年度：3.5 貫
真珠共販売上単価	基準年	平成 28～令和 2 年度平均：2,685 千円／貫
	目標年	令和 8 年度：2,766 千円／貫
新規真珠養殖業就業者数	基準年	平成 29～令和 3 年度：計 5 名（1.0 名／年）
	目標年	令和 4～8 年度：計 10 名（2.0 名／年）

##### (3) 上記の算出方法及びその妥当性

① 1 経営体あたり真珠共販売上数量及び真珠共販売上単価
1 経営体あたり真珠共販売上数量＝県内の真珠共販売上数量÷県内の真珠養殖経営体数 真珠共販売上単価＝県内の真珠共販売上金額÷県内の真珠共販売上数量
持続的な真珠養殖業の確立にあたっては、養殖経営体の所得向上が必要である。このため、1 経営体あたりの生産数量及び単価を向上させることとして目標値を設定した。その指標値として、県内の真珠共販実績からデータを抽出し、直近 5 ヶ年（平成 28～令和 2 年度）の平均値とした。評価基準値は、1 経営体あたり真珠共販売上数量 3.3 貫及び真珠共販売上単価 2,685 千円／貫とし、所得向上のための目標値は、売上数量 3.5 貫（5.0%向上）及び単価 2,766 千円／貫（3.0%向上）の達成をめざす。
② 新規真珠養殖業就業者数
真珠養殖の継承と持続には、地域の真珠養殖業をけん引していく新規の真珠養殖業就業者の確保と育成が重要である。このため、今後、あらゆる取組を拡大することで、新規真珠養殖業就業者数を直近 5 ヶ年（平成 29～令和 3 年度）の平均 1.0 名／年から、その倍となる 2.0 名／年に増やすことを目標とした。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン緊急対策事業 (広域浜プラン実証調査)	広域浜プランの遂行にかかる取組に活用 (関連項目：Ⅰ-1,2,3、Ⅱ-1,2,3,4)
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入に活用 (関連項目：Ⅱ-2,5、Ⅲ-3)
水産業競争力強化金融支援事業	上記事業を利用する場合の融資支援に活用 (関連項目：Ⅱ-2,4、Ⅲ-3)
水産業競争力強化緊急施設整備事業	入札の効率化、生産性・安全性・作業性の改善に伴う施設の撤去や更新に活用 (関連項目：Ⅱ-1,2)
漁業収入安定対策事業 (積立ふらす(養殖共済))	養殖貝のへい死等に対する措置として活用 (関連項目：Ⅱ-6)
農山漁村6次産業化対策事業	生産者や団体による6次産業化の取組に活用 (関連項目：Ⅱ-4)
農山漁村振興交付金 (渚泊推進対策)	観光漁業等に関する取組に活用 (関連項目：Ⅱ-4)
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業	中核的漁業者へのリース方式による漁船の導入に活用 (関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2)
真珠品質保持緊急対策	真珠の長期保管時に品質の劣化を防ぐ管理・保管のための取組等に活用 (関連項目：Ⅱ-1,2)
経営体育成総合支援事業	新規就業者の確保と育成などに活用 (関連項目：Ⅲ-1,2,3)
貝類のへい死対策環境整備支援事業	モニタリング環境の整備に活用 (関連項目：Ⅰ-1,2)
漁業共済推進事業費補助金(県)	漁業共済赤潮特約の掛金を一部負担 (関連項目：Ⅱ-6)
沿岸漁業改善資金貸付事業(県)	若手生産者の経営改善にかかる設備投資等に活用 (関連項目：Ⅱ-5、Ⅲ-2)
英虞湾観測事業補助金(市)	生産者による環境モニタリング活動に活用 (関連項目：Ⅰ-2)
自動水温観測ブイ管理事業補助金(市)	漁場環境のモニタリング機器の設置・整備等に活用 (関連項目：Ⅰ-2)
真珠品評会事業補助金(市)	真珠品評会の開催に活用 (関連項目：Ⅰ-1)
漁業共済赤潮特約事業(市)	漁業共済赤潮特約の掛金を一部負担 (関連項目：Ⅱ-6)

自動観測装置管理事業補助金（町）	漁場環境のモニタリング機器の設置・整備等に活用 (関連項目：Ⅰ-2)
養殖共済赤潮特約負担金（町）	漁業共済赤潮特約の掛金を一部負担 (関連項目：Ⅱ-6)

※関連事業には、活用を予定している国（水産庁以外を含む）、地方公共団体等の補助金・基金等を記載。ただし、本欄への記載をもって、事業の活用を確約するものではない。

※具体的な事業名が記載できない場合は、「事業名」は「未定」とし、「事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性」のみ記載する。